

比率の解説

年間の出生・死亡・婚姻・離婚数

$$\text{出生率・死亡率・婚姻率・離婚率} = \frac{\text{年間の出生・死亡・婚姻・離婚数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

(人口千対)

$$\text{合計特殊出生率} = \frac{\text{15~19歳の母の出生数}}{\text{15~19歳の女子人口}} \times 5 + \frac{\text{20~24歳の母の出生数}}{\text{20~24歳の女子人口}} \times 5 + \dots + \frac{\text{45~49歳の母の出生数}}{\text{45~49歳の女子人口}} \times 5$$

(国のものは、各歳ごとの出生率の和)

自然増加数(出生数 - 死亡数)

$$\text{自然増加率} = \frac{\text{自然増加数(出生数 - 死亡数)}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

(人口千対)

年間の乳児・新生児・早期新生児死亡数

$$\text{乳児死亡率・新生児死亡率・早期新生児死亡率} = \frac{\text{年間の乳児・新生児・早期新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

(出生千対)

年間の死産数・自然死産数・人工死産数

$$\text{死産率・自然死産率・人工死産率} = \frac{\text{年間の死産数・自然死産数・人工死産数}}{\text{年間出産数(出生数 + 死産数)}} \times 1,000$$

(出産千対)

年間周産期死亡数

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{年間周産期死亡数}}{\text{年間出産数(出生数 + 妊娠満22週以後の死産数)}} \times 1,000$$

(出産千対)

年間男子死亡数

$$\text{死亡性比} = \frac{\text{年間男子死亡数}}{\text{年間女子死亡数}} \times 100$$

死因別死亡数

$$\text{死因別死亡率} = \frac{\text{死因別死亡数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 100,000$$

(人口10万対)

年齢調整死亡率

{ (観察集団の各年齢階級の死亡率) × (基準となる人口集団のその年齢階級の人口) } の各年齢階級の総和

=

基準となる人口集団の総和(昭和60年のモデル人口)